

B-16

出展団体名	(独) 水産総合研究センター さけますセンター	
発表者所属	さけます研究部海区水産業研究室	
発表者氏名	清水 幾太郎	
発表タイトル	輸入サケに圧倒されてきた国産サケ、いよいよ反転攻勢の時代なるか。	
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客(ライセンサー)探し	
	<input type="checkbox"/> その他 (国産サケ資源のための経済研究の紹介) 具体的に	
キーワード	① 国産サケ価格変動要因	② 価格安定と国産サケ輸出
	③ 需要拡大のための研究方向	④ 国際需要に対応したビジネス
要 旨 (アピールポイント)		
<p>① 国産サケの増殖経費は水揚げ金額からの賦課金で賄われるため価格の変動を受けることから、国産サケ価格を巡る経済要因を概観し、輸入サケと国産サケ価格との関係を紹介する。</p> <p>② ふ化放流事業によって資源を増やしている国産サケは、輸入サケ等の影響でその価格が低迷したが、最近では中国輸出によって活路を見いだすようになった背景を紹介する。</p> <p>③ 国際的な水産物需要拡大のなかで国産サケの位置を輸入養殖サケと対比して確認し、国産サケの需要拡大に必要な新たな戦略と研究方向を探り、欧米や中国の需要に対応する高付加価値製品を具現化するための共同研究パートナーを探すことを目的とする。</p> <p>④ 本年10月15日から24日にかけて中国の青島と上海でサケを含む輸出水産物に関して現地調査するので、これら最新情報を踏まえて紹介する。</p> <p>⑤ さけますセンターが水研センターと統合し、中央水産研究所水産経済部と連携しつつ栽培漁業種であるサケを対象に取り組んでいる社会経済的視点からの研究を紹介する。</p>		
特記欄		